

里山さんぽ 2018 A to Z

発行日 2019年1月16日

著者 藤井徳子（富山福祉短期大学 幼児教育学科・富山森のこども園代表）
兼崎亜紀子（富山森のこども園）
野崎亜紀（富山森のこども園）
三宅可倫（富山森のこども園）

協力 射水市
富山県自然博物園ねいの里

発行 富山福祉短期大学 幼児教育学科 藤井研究室



主催 富山福祉短期大学
幼児教育学科 藤井研究室
fujii@te.urayama.ac.jp
0766-55-5567



共催 富山森のこども園
toyama.morinoko@gmail.com
<http://toyamamorinoko.strikingly.com/>



MESSAGE



豊かな「こどもの時間」をすべての子どもたちに

射水市・富山福祉短期大学・富山森のこども園の協働による自然体験プログラム『森であそぼう！里山さんぽ』。2年目を迎えた2018年度は、①親子参加プログラム②射水市立金山保育園プログラム③園内研修プログラムという三本立てで実施しました。

特に、③園内研修プログラムは、今年度からの新企画でした。いつもの園庭（保育）がもっと楽しくなるように、自然保育体験、園庭活用術、園庭での子どもたちの日々の遊びを振り返り「子どもたちはそこでどんな経験をしているのか」問い直すワークショップを行いました。童心に返って自然遊びに興じる保育士さん達の姿は、明日からの保育に希望を感じさせてくれるものでした。

里山さんぽで会う子どもたちは、いつも自然な子どもらしさを存分に見せてくれます。自分が自分の主人となって、心からの「やりたい！」を叶えているからでしょうか。

子どもが子どもとして生きる「こどもの時間」。

誰もが、人生の始まりに、生涯で一度だけ授かることができる。

私たち大人から未来を担う子どもたちへ、どんな「こどもの時間」を贈ってあげたいですか？

MEMBER



ノリチェル かあさん
Norichel Carsan (藤井徳子)
富山福祉短期大学 幼児教育学科教員。専門は自然保育、環境教育。富山森のこども園代表。



兼崎亜紀子 (富山森のこども園)
子どもとのプログラムを担当。森ではついでんぐりや枝を集めてしまうクラフト好き。



野崎亜紀 (富山森のこども園)
人と自然が良い関係であり続けるように、森で過ごす楽しさを共有したい焚き火番。



三宅可倫 (富山森のこども園)
福岡発、マニラ・NY経由で富山着。特技は社会調査。「里山」では評価担当。

親子参加プログラム

第1回
6/2

草花レストラン♪



●プログラム

森へでかけよう！→草花レストランへようこそ→焚き火で！



第2回
7/14

いきものみっけ！



●プログラム

森のいきものさがし→池のいきものさがし



第3回
10/20

小枝のパチンコづくり



●プログラム

どんぐりいろいろ→森のおさんぽ→作ってあそぼ！
小枝のパチンコ→焚き火スープ



第4回
12/1

森のクリスマス★



●プログラム

バードケーキ作り→森のおさんぽ→あったか焚き火タイム



射水市立
金山保育園プログラム

昨年に引き続き、地域の自然や園庭を活用した「金山オリジナル」のおさんぽプログラムです。里山さんぽの日だけでなく「いつでもできる」「繰り返しできる」「発展していく」ことを大事に、プログラムを考えました。

夏 色水パフェ

園庭に咲く草花から自然の色を少しだけいただいて色水作り。赤い色水が石鹸水と混ざり青く変身する科学の不思議にも目をみはっていました。



秋 秋のお宝みつけ

翁徳寺の里山へ、コカリナの音色に合わせて季節の歌を口ずさみながらお散歩♪セミの抜け殻、巨大キノコ、秋の森は素敵なお宝がいっぱい。



冬 蜜蝋キャンドルづくり

甘い蜜蝋の香りの中で、クリスマスキャロルを歌いながら、だんだんと大きくなっていくろうそく作りを楽しみました。



金山保育園 先生 の 声

「今日里山さんぽがあるよ」と知らせると「何するんだろう?」と毎回ワクワクしていた。「やってみよう」という声がよく聞かれた。

…こういう色もあるんだ、こういう花もあるんだと気づけるようになり、子どもたちの力がアップした。周りの自然に改めて気づき、形、色、匂いに興味を持ち、自発的に、集中して取り組む姿が見られた。…考えたり、工夫したりする力や、自主性も育つのではないかと思います。

国内研修プログラム

「自然保育を取り入れたいけれど、自信がない」「園庭をもっと活用したい」「自然体験活動時のリスクマネジメントを学びたい」そんな保育現場のリクエストにお応えします！

● 8月7日

射水市立七美幼稚園・射水市立大門わかば幼稚園

県自然博物館ねいの里にて実施。フィールドで「森のようちえん」体験、昼食は囲炉裏小屋の焚き火でカートンドッグ作り。最後は博物館で自然保育レクチャーと振り返りを共有しました。



● 10月10日 射水市立大江保育園

小枝パチンコとドングリの射的、園庭の植物でおい当てクイズなどの自然遊びを体験した後、園庭の地図に子どもたちの遊び場所と内容をマッピングし、そこで子どもたちがどんな経験をしているのか問い直すワークを行いました。



● 10月19日 射水市立下村保育園

自然林など、豊かな自然に恵まれた園庭でどんな遊びが展開できるのか検討しました。ロープと小枝で縄ばしごやブランコを作って木に吊るし、またハンモックも実際に体験して、安全性やリスクマネジメントについて確認しました。焚き火で湯を沸かしクロモジの葉っぱでお茶も作って楽しみました。



CONTENTS 里山さんぽの魅力をも A to Z のキーワードでリストアップしました。

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| A 遊びこむ | N ねいの里 |
| B ブランコ | O 親子 |
| C チャレンジ | P 小枝パチンコ |
| D でたぞでたぞ（森の準備体操・おねえちゃん先生） | Q クオリティ（質） |
| E 園庭（研修） | R リスクマネジメント |
| F free（自由） | S 自然保育 里山さんぽ |
| G 五感 | T 焚き火 |
| H Happy（幸せ） | U 美しい |
| I 射水市 | V バラエティ 多様性 |
| J Just now 今このとき | W ワクワク Wonder sence of wonder |
| K 金山保育園 | X クロス 協働 |
| L Look! みて! | Y やりたい! |
| M 森のようちえん | Z 全部 |

A

遊びこむ

どんぐりを拾いながら森を歩く。これは緑色。これはまんまる。これはボサボサ帽子！お友だちがどんどん先に行ってもお構いなし、夢中になってどんぐりを探している。自分のペースで好きなことを好きなだけ楽しんでいい“こどもの時間”



B

ブランコ

森の木にロープを下げ、板切れをのせただけの森のブランコは子ども達に大人気。いつも行列ができています。地面から足が離れて空をきる爽快感。ハイジになって何度でも。



C

チャレンジ

急斜面を一人で歩ききる。虫を捕まえてみる。自然のなかで、少し勇気を出して、今までできなかったことに挑戦してみる。そんな子どもたちのチャレンジを「里山さんぽ」でたくさん見ることができました。



D

でたぞでたぞ (森の準備体操 おねえちゃん先生)

森の準備体操「でたぞでたぞ！」「なーにがでたぞ？」短大のおねえちゃん先生たちが子どもたちに、森の危険や安全対策を楽しく教えてくれます。これで蜂やヘビと出会っても大丈夫。



E

園庭 (研修)

園庭でくりひろげられる、子どもの世界。園庭で結ばれる、子どもと世界。自園の保育のあり様を、園庭を通して今一度ふり返る園庭研修。周辺環境の変化の中で最後の砦ともなる園庭を、子どもたちを真ん中において、つくり変える園庭研修。



F

free (自由)

何をして遊ぶ？どこで遊ぶ？いつまでやる？自分で決める。自分で考える。自分で試してみる。幼児期は「意志を育む」大切なとき。



G

五感

木々の間で鳥が鳴き、目の前にジョロウグモが立ちただかる。よけたつもりが、頭にへばりつくクモの糸。散歩の終点、いろり小屋からは焚火の匂いが漂って。本日の焚火料理は何だろう？体中のセンサー全開で、森を行く。



H

Happy (幸せ)

自然のなかで、大好きなおうちの人や友だちと一緒に過ごす時間は最高に幸せな時間。森の幸せな記憶が、富山の豊かな自然への愛着を育み、次世代を育てていく。きっと未来もHAPPY！



I

射水市

射水市公募提案型市民協働事業として、平成29年度から始まった「森であそぼう！里山さんぽ」すべての子どもたちに豊かな自然体験の機会が届きますように。



J

Just now
今このとき

自然の中には“今この時”がいっぱい。朝の澄んだ空気、カエルのたまご、落ち葉のシャワー、雨の匂い、不思議なキノコ。出会うたびの感動、子ども時代。今この時を大切に。



K

金山保育園

夏は園庭の草花を使って色水パフェづくり。秋は翁徳寺の里山で自然を満喫。冬は蜜蝋で黄色く甘い香りのキャンドルを作りました。いつもの園庭で、いつものさんぽコースで、何度でも繰り返し、発展しながら楽しめるプログラム。



L

Look!
みて!

「みてみて！」道で拾ったドングリ、虫食いの葉っぱ、指さしたむこう。そこに見えないものも、彼の目には大きくくっきり写っているんですね。どれも、キラキラ輝く子ども達の宝物です。



M

森のようちえん

北欧で始まり、欧米やアジアで急速に広がっている「森のようちえん」。自然のなかで五感を研ぎ澄まし、主体的に遊び、自分の意志を育む。人生のスタートのこどもの時間はこうでありたい。



N

ねいの里

富山県立自然博物館ねいの里。コンパクトな森のなかには、小川が流れ、いくつもの散歩道があって、子どもが好きなコースを選んで歩くことができます。囲炉裏小屋で焚き火もでき、はじめての自然体験にとっても良いフィールドです。



O

親子

みんなが大好きな、お父さんやお母さん、おうちの人たちと森に出かけ、同じ風景を見て、同じ自然を感じ、一緒に遊ぶ。家に帰ってからも、遊びや思いが続いていく。そんな時間がいつか人生の宝物になる。



P

小枝パチンコ

Y字の小枝でパチンコ作り。でもドングリを飛ばすのは意外と難しい。フライパンの的に大当たりし「カ〜ン」と鳴り響く爽快感。大人たちも夢中になって遊びます。



Q

クオリティ (質)

質が質を育む。草花レストラン 水辺の生き物に触れてみる 小枝パチンコ バードケーキ 自然物で遊んだり創作活動したりすると、それだけで美しい。自然界の調和や多様性に、子どもなりに気づき、感じている。



R

リスクマネジメント

リスクマネジメントは、危険を取り除くだけでは決して身につきません。小さな危険の経験を積み重ねるからこそ、自分の限界を知り、危険を予測できるようになっていくのです。



S

自然保育 里山さんぽ

自然保育を自治体レベルで推進しようと「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」が設立され、全国で111の自治体が加盟（H30年12月現在）、日本中で自然保育に追い風が吹いています！



T

焚き火

炎の揺れは1/fゆらぎ。炎を見ると安心したり落ち着いたりする感性は人間の遺伝子に組み込まれているのだ。でもなんといっても焚き火は美味しい！マッシュマロ、焼きリンゴ、かぼちゃスープにカートンドッグ。



U

美しい

目に映るもの、聞こえるもの、自然の中ではどれも美しく、土の香りや感触にさえ驚く。子どもたちの原体験や原風景の多くはきっと自然の美しさの中から生まれる。



V

バラエティ 多様性

紫陽花をそっと濡らしていた雨が、今、小屋の屋根を打つ。森では、すべてのことが、少しずつ違ってあらわれる。子どもたちは、その一つずつに出会い、自分を知っていくのだろう。そして、いつか、それらのつながりに気づいたとき、自分を超えていくのだろう。



W

ワクワク Wonder sence of wonder

「森に出発！」声をかけると、子ども達の瞳が真っ黒に輝く。森には何があるのかな？動物さんに会えるかな？雨で煙る景色の中にも光りかがやく「何か」を見つけるのが子どもたちは得意です。



X

クロス 協働

「力を合わせると、もっとできるんだ！」を証明した里山さんぽ。射水市・富山福祉短期大学・富山森のこども園が協働し、大人たちが知恵や想いを寄せ合い、いみずっ子の「こどもの時間」を本気で応援している。



Y

やりたい！

「焚き火に小枝をくべてみたい」「高い所からジャンプしたい」大人は「危ない、だめ」をぐっと堪え、おしる応援してみよう。子どもたちの「やりたい」をたくさん叶えてあげたい。



Z

全部

ぜんぶあるんだ、森に。だから、なんでもできるんだ、森で。後は、遊びごとりと知恵を、少し。



親子参加プログラム

参加者の声

虫が苦手だった娘がはじめて自分でトンボをつかまえました。虫かごに入れて、とてもうれしそうでした。

自然環境を存分に生かし、楽しめる内容で、親子で大満足です。

泥んこになりながら、雨上がりの天気を楽しむ子どもの姿を見られてよかったです。

